

はじめに

四日市市教育委員会では、平成15年の初版より、本市の学校教育の実情を広く情報発信し、市民の方々にもご理解をいただきたいと考え、「学校教育白書」を発行しています。

また、平成17年度版（第4号）からは、本市のめざす学校教育の基盤として策定しました「四日市市学校教育ビジョン」の進捗状況を評価することも、この白書の役割として位置付け、学校教育ビジョンの「15の重点」の目標に対する到達状況を記載しております。

さらに、平成19年度版（第6号）から、学校教育ビジョンと教育委員会の各種事業・取組との関連について、より分かり易くするため、学校教育ビジョンの「15の重点」にあわせた構成となるよう改訂しました。

本年度版（第8号）においては、本市がめざす子どもの姿として育みつつある「生きる力」・「共に生きる力」の視点から、本市の子どもの現状について章を設け、課題を明確にするなど、一部改訂を行いました。

そして、本市が特色として進めている「読書活動」「英語活動」「ICT活用」については、一層のレベルアップに向けた取組を進めています。また、環境教育の取組に重点をあてた「総合的な学習の時間」を新たに加えました。

このように、この「学校教育白書」は、教育委員会の各種事業の実施状況や達成状況等について、各学校での取組の様子や子どもの姿から、その現状や課題を明らかにし、今後の方向性を示しています。

今後もこの「学校教育白書」が、学校教育ビジョンを基盤とした本市の学校教育の実情を広く市民の皆さんに情報発信するツールとして、一層充実したものとなるよう努めていきたいと考えております。そのためにも、市民の皆さんから忌憚のないご意見をいただければ幸いです。